

令和の“松下村塾”で21世紀人材を育成する

グローバルアジア 戦略塾

教授・名誉教授・ジャーナリスト等
一流の講師陣！

10月16日
開講

お申込受付中
締切 9月30日

大転換する世界を読み解く！

日本はいかに生きるべきか

1. 意義

大転換する世界下「西洋の終焉」とアジアの興隆が、三つの戦争とトランプ2政権下のドンロー・ドクトリンの挫折と終焉で明らかになっています。「パクス・アメリカナ」に代わって「パクス・アジアナ」を担う、脱国境型の高等人材育成機関の設立発展が、強く求められる所以です。東アジア地域共生を担う高等人材育成・戦略構築機関の設立です。21世紀アジアエラスムス計画の具現化です。

かつて二度の世界大戦の危機を経た1949年、欧州の一群の知識人たちが、近世の思想家、エラスムスの提言した脱国境型の高等教育機関の構築を実現すべく、ベルギーの小都市ブリュージュに、欧州協力統合に向けた高等人材育成機関、ヨーロッパ大学院を設立し、欧州統合の端緒を作りました。

その歴史のひそみに倣い、いま私たち国際アジア共同体学会（ISAC）は、アジアエラスムス構想を実現すべく、グローバルアジア戦略塾を立ち上げます。「第二の敗戦」下でいま希求されている「21世紀松下村塾」の構築を志します。

2. 設立母体

国際アジア共同体学会（ISAC）と一般社団法人アジア連合大学院（GAIA）機構を設立母体とします。

3. 設立目標

東アジアの脱国境型の地域共生を担う高等教育人材育成のための、知的戦略機関の構築をめざします。

特に、既存の高等教育大学院機関で軽視されてきた、国際公共政策や経営情報、環境食糧エネルギー、地域開発、人間安全保障や軍事防衛問題等の多方面にわたる戦略思考の育成に重点を置いたプログラム・カリキュラムを構築・実践します。

申込先: <https://forms.gle/4RZH1Fha2fjEZmD79>

国際アジア共同体学会・(一社)アジア連合大学院機構

東京都千代田区神田須田町1丁目7番8号 VORT秋葉原IV 2F 一般社団法人一帯一路日本研究センター内

<http://isac-asia.com> <http://gaiakikou.com>

お問合せ先 info@isac-asia.com



受講資格：グローバルアジア戦略塾の趣旨に共鳴し、意欲のある有志
テキスト：『大転換する世界—連欧連亜と日本の生きる道』花伝社、2026年
開催場所：日本プレスセンター内会議室（霞が関、内幸町駅）を主軸とする。*場合により会場の変更あり
開催日程：2026年10月開学。原則月4回/金曜午後6時半～8時半、2時間秋学期12回 春学期12回
付則：履修者資格付与。グローバルアジア戦略塾修了証を授与。
塾生資料代：半期5万円、 全期（秋期、春期）10万円）（学生割引有）

秋冬季（2026年10月～27年1月 4ヶ月）講座カリキュラム

	開講日	講座名	講師
第1講	10月16日	「戦略的思考と日本の生きる道」	進藤 榮一（筑波大学名誉教授）
第2講	10月23日	「激動するアメリカ—同盟のあり方を問い直す」	萩原 伸次郎（横浜国立大学名誉教授）
第3講	10月30日	「変容するロシアとウクライナ戦争」	下斗米 伸夫（法政大学名誉教授）
第4講	11月 6日	「イラン戦争後の中東と日本外交」	宮田 律（現代中東研究所長）
第5講	11月13日	「グローバルサウスとASEANの新動向」	平川 均（名古屋大学名誉教授）
第6講	11月20日	「変容する欧州とNATO—西欧新右翼と民主主義の行方」	渡邊 啓貴（東京外国語大学名誉教授）
第7講	11月27日	「政治体制論」から見る中国と米国の現状と未来	朱建 栄（東洋学園大学客員教授）
第8講	12月 4日	「一帯一路と中国の世界戦略」	川村 範行（名古屋外国語大学名誉教授）
第9講	12月11日	「環境安全保障と日中の生き方」	明日 香寿川（東北大名誉教授）
第10講	12月18日	「日本の食糧安全保障を問い直す」	鈴木 宣弘（東大特任教授）
第11講	1月15日	「南北グローバル不均等発展とG2の行方」	大西 広（京大・慶應大名誉教授）
第12講	1月22日	「新しい戦争」と日米安保構造	望月 衣朔子（ジャーナリスト）

春学期（2027年3月～6月）4ヶ月（予定）

	「戦争終結に導く日本の戦略思考」	東郷和彦（元外務省条約局長）
第1講		
第2講	「CHINDIAの世紀と情報学」	中川 十郎（BIS理事長） コメンテーター Emanuel Pastreich 元エール大学教授
第3講	「中東問題と外交情報」	* 交渉中
第4講	「新しい戦争」と日米安保構造」	* 交渉中
第5講	「観光立国」論の虚実」	郭洋春（立教大学前総長）
第6講	「ブレトンウッズ体制の終焉」	叶芳和（国民経済研究協会元会長）
第7講	「ナショナリズムを陶冶する」	* 交渉中
第8講	「反乱と正義の国際政治経済学」	福富満久（一橋大学教授）
第9講	「情報学と国際競争力検証」	菅沢喜男（日本大学元教授） コメンテーター：高橋文行CI会長、日本経済大学大学院主任
第10講	「第二の敗戦」と日本経済」	植草一秀（早稲田大学元教授）
第11講	「一帯一路がつくるアジア力の世紀」	福山秀夫（一帯一路日本研究センター上級研究員）
第12講	「中国における食の安全問題」	周偉生（立命館大学名誉教授）